

■井伏鱒二 「山椒魚」で文壇に登場、次々と傑作を生み出し、原爆の悲惨を描いた「黒い雨」で世界的作家となった。

いぶせますじ

子規句歌革新1898＝ 広島県加茂村の代々地主の家柄に、次男として生れる。

日比谷公園・1903＝ 4歳：弟に続いて父が死去。以後、祖父に可愛がられる。

日露戦争終・1905＝ 6歳：

韓国反日暴動1907＝ 9歳：

韓国併合・・・1910＝12歳：家が強盗に襲われる。

明治天皇没・1912＝14歳：福山中学校に入学、寄宿舎に入る。漠然と画家を志す。

民本主義・・・1916＝18歳：寄宿舎を出て、母と暮らす。

ロシア革命・1917＝19歳：中学校を卒業、上京して早稲田大学予科に入学。_新聞連載の囂外に変名で反駁文を送り返事を受ける。

ハルビン条約・1919＝21歳：早稲田大学仏文科に入る。_習作を青木南八に送る。

原敬首相暗殺1921＝23歳：日本美術学校別格科にも入学する。仏文科の教授との軋轢で休学、因島に行く。

水平社結成・1922＝24歳：上京して復学手続をするが、教授の反対により退学。青木南八が他界。

関東大震災・1923＝25歳：_同人誌「世紀」創刊に参加し、「幽閉」を発表するが、関東大震災に会い、帰郷。「世紀」も解散。

護憲三派圧勝1924＝26歳：聚芳閣の科学雑誌の編集記者として入社。

治安維持法・1925＝27歳：退社して帰郷。

日本時代始・1926＝28歳：復職、退社を繰り返す。

金融恐慌・・・1927＝29歳：祖父が死去。荻窪に家建て、結婚。_小説で初めて原稿料を貰う。

世界恐慌・・・1929＝31歳：この間、「文学界」他に次々と発表するなど、_ながい同人誌習作時代を経て、*「幽閉」改題した「山椒魚」や「朽助のみる谷間」などで文壇に登場。後の「阿佐ヶ谷会」がスタート。

海軍軍縮条約1930＝32歳：_創作集「夜ふけと梅の花」を刊行。ユーモアとペースを含んだ独特の作風で作家としての地位を確立した。太宰治が訪れ、以後師事される。

満州事変・・・1931＝33歳：以後も各誌に次々と発表を続ける。

帝人疑獄事件1934＝36歳：

芥川直木賞始1935＝37歳：_「集金旅行」以来、挿話と挿話をつなぐ連作的スタイルは、この作家の特徴となった。

日中戦争始・1937＝39歳：

健保+総動員 1938＝40歳：_「ジョン万次郎漂流記」で直木賞を受賞。歴史小説の佳作「さざなみ軍記」を完成した。

第二次大戦始1939＝41歳：_井伏家で太宰の結婚式。駐在巡查の日記の形をかりた「多甚古村」は多くの読者に迎えられた。

早くから滋味あふれる多くの随筆を書く一方で、「厄除け詩集」など独自の風韻をもった詩集もある。

日米開戦・・・1941＝43歳：陸軍徴用員として、

・・・1942＝44歳：1年間シンガポールに滞在した後、徴用解除。

創価学会検挙1943＝45歳：直木賞選考委員となる。

敗戦・・・1945＝47歳：敗戦前後は甲州や郷里にあって沈黙していたが、

新憲法公布・1946＝48歳：以降、旺盛な作家活動をはじめ、

新憲法施行・1947＝49歳：荻窪の自宅に戻り、以後定着。

極東裁判決・1948＝50歳：_太宰の告別式。

朝鮮戦争始・1950＝52歳：_「本日休診」その他により第1回読売文学賞を受けた。戦時の体験も傑作「遥拝隊長」に結実している。

独立回復・・・1951＝53歳：

マーデー事件・1952＝54歳：

以後、_しだいに円熟味を加え、

国連加盟・・・1956＝58歳：芸術院賞を得た「漂民宇三郎」をはじめ、

なべ底不況・1957＝59歳：「駅前旅館」、

インスタメン・1958＝60歳：芥川賞選考委員となる。

美智子妃・・・1959＝61歳：「珍品堂主人」、

安保闘争・・・1960＝62歳：日本芸術院会員。

タイタイ病始・1961＝63歳：「武州鉢形城」など、_鋭い人間洞察を格調ある文体で表現した作品を次々に発表。

大学紛争始・1965＝67歳：_「姪の結婚」として始めた連載を、

いざなぎ景気1966＝68歳：*改題した「黒い雨」では原爆の大惨事を無名の庶民の日常的な視点を通して描き出すことに成功して野間文芸賞を受けた。同年文化勲章を受章。

大阪万博・・・1970＝72歳：日本経済新聞「私の履歴書」連載、

日中国交回復1972＝74歳：*「早稲田の森」により、読売文学賞。”阿佐ヶ谷会”解散の会。

石油ショック1973＝75歳：

角栄金脈辞任1974＝76歳：「井伏鱒二全集」刊行。_以後も連載等を続け、

革新大敗北・1979＝81歳：

中曽根内閣・1982＝84歳：荻窪の古老矢嶋又次の昔の荻窪の「記憶画」に触発され、*「荻窪風土記」執筆刊行、

ジャンボ機墜落1985＝87歳：第一回早稲田大学芸術功労者賞。「井伏鱒二自選全集」刊行。

昭和天皇没・1989＝91歳：映画「黒い雨」上映。広島県名誉県民。

ドイツ統一・・・1990＝92歳：東京都名誉都民。

バブル崩壊・1992＝94歳：「アサヒグラフ別冊 井伏鱒二の世界」で最晩年の日々が紹介され、

55年体制終・1993＝95歳：救急入院し、_没した。

「この人どんな人」、平凡社百科事典、新潮日本文学アルバム、